田辺東部小学校

田辺東部小学校　学校だより
令和３年３月号

ご卒業おめでとうございます

背中から大きくはみ出たランドセルを背負い、元気よくかけ出した後ろ姿。

友だちとけんかしてべそをかいたあの日。

靴が脱げてしまい、悔し涙にほおをぬらした運動会。

授業参観で見た、いつにない照れながらも嬉しそうな顔。

日々、ともに喜び、ともに涙した数々の思い出。

どの場面もつい昨日のように瞼によみがえってくる。

49名の６年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

人生の一つの大きな節目ともいえる卒業式は、自分の成長や学んできたことを見つめ直し、とらえ直し、確かめる場であり、これから歩む人生（中学校という新しい世界）に向けて思いを新たにする場でもあると言えます。

さて、卒業証書を手にした皆さんが、この６年間を振り返ったとき、どんな思い出を語るのでしょうか。家の人と手をつないで門をくぐった入学式でしょうか。力いっぱい走った運動会でしょうか。友達と話しながら通った登下校の道でしょうか。それともワクワク、ドキドキの修学旅行でしょうか。思い出は一人ひとり異なるかもしれませんが、田辺東部小学校で学び、成長してきた皆さんの輝かしい軌跡は、しっかりと残っています。

そして、皆さんの軌跡を引き継ぐ在校生も、卒業生に負けないくらい成長し、今の学年を締めくくります。初めて小学校生活を経験し、文字通り小学生らしく成長した１年生。中学年に近づき、お兄さん・お姉さんらしさを増してきた２年生。元気だけでなく、少しずつ落ち着きも出てきた３・４年生。さらに、何より本校の最上級生となり、リーダーとなる５年生。４月からの新学年では、それぞれが自信と意欲を持ち、目標に向かって力強く前進してくれることと思います。

さて、この１年間、地域や保護者の皆様には、本校の教育活動に多大なご支援・ご協力を頂きました。

年度当初は、新型コロナウイルス感染症の影響で、休校となり、学校再開後は分散登校や感染症防止対策を行いながらの学校生活でした。児童の安心・安全を最優先に取り組んで参りましたが、地域や保護者の皆様には、行事等の開催にあたり学校からお願いすることが多く、ご心配をおかけすることもあったと思います。そのような中でも、それぞれの立場でご協力いただきました。「できることはありませんか」と声をかけていただくことも多々あり、田辺東部小学校の地域・保護者の皆様の温かさを感じました。

学校・学年行事は変更を余儀なくされ、何とか工夫して、感染症対策をとった上でどうにか実施できないかと検討を重ねてきた１年間でした。長きにわたりお願いしておりました、おはなしサークル「メルヘンのくに」の方々による読みきかせは、今年度は活動を見送らせていただきました。花つぼみ会の方々による花植えは、学校再開後、少し落ち着いてからの実施になりました。その他にも地域・保護者の方々に講師をお願いした授業・体験活動・行事など、大勢の皆様にお力添えを頂き、新しい生活様式の中で学習を進めてきました。このような状況の中で、子供たちの豊かな学びのためにご尽力頂きましたこと、心より御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

ありがとう　６年生のみなさん！！
そして　バトンは５年生に！！！

２月22日、「６年生を送る会」が行われました。コロナ禍の中で、昨年のような一斉に集まって送るという形ではありませんでしたが、何とか６年生に感謝の気持ちを伝えたいということで、５年生が企画し、各学年が順番に体育館に入って６年生にプレゼントを渡し、感謝の気持ちを伝えました。５年生が初めて中心となって行った行事でしたが、きれいな飾りつけや司会を行い、送る会を大いに盛り上げてくれました。５年生は４月からいよいよ田辺東部小学校の最高学年になります。卒業していく６年生をお手本として、その重責を立派に果たしてくれるものと期待しています。本当にご苦労様でした。

令和３年４月号（２０２１年）

公民館だより

ひがし

ひがし地区　人口 及び 世帯数(2月末現在)

人　口　5，888人　　2，870世帯
（男性）2，783人
（女性）3，105人

未来へつながる道 田辺市 JUNCTION TO THE FUTURE

編集・発行　田辺市南新万28番１号　田辺市ひがし公民館　館長：濵野　公二　主事：谷口　美帆

TEL：２２－２０８８　FAX：８１－３３０１　田辺市ホームページ http://city.tanabe.lg.jp/

令和３年度

参加者募集！！
公民館サークル

問合せ
ひがし公民館　☎ 22-2088

ひがし公民館では、公民館サークルのメンバーを募集しています。趣味や教養の幅が広がるだけでなく、新しい交流の輪も広がります。活動に興味をお持ちの方、初心者はもちろん、以前習っていたことをもう一度やってみたいという方も是非ご参加ください。見学・体験もできます。

サークル名	活動日	時間	会費
ひがしコスモス（社交ダンス）	毎週月曜	19：30～21：30	1,500円/月
ルーシーダットン（体の調整法）	月曜（月２回）	19：30～20：30	6,000円/３ヶ月
骨盤矯正ストレッチエクササイズと全身運動（朝）	月曜（月２～３回）	10：30～11：30	6,000円/３ヶ月
骨盤矯正ストレッチエクササイズと全身運動（夜）	木曜（月２～３回）	19：30～20：30	6,000円/３ヶ月
スポーツウェルネス吹矢	毎週火曜	9：30～11：30	無料
ゆる体操	第１・３水曜	10：00～11：30	無料
フラワーアレンジメント	第３火曜	19：30～21：30	3,000円/月
着付けサークル	第１・３水曜	19：30～21：30	1,000円/月
ひがしコーラス	第１・３木曜	13：30～15：00	1.500円/月
謡曲サークル	第２・４木曜	13：30～15：30	無料
大正琴　さくら会	第１・３金曜	13：30～16：00	3,000円/月
アロマセラピー	第３土曜	13：30～16：00	6.500円/年

各種生ごみ処理機器の購入費を一部補助します。

処理機器を使用することにより、各家庭でごみ減量が図られ、生ごみを堆肥として再利用することができます。

■交付要件

市に住民票のある世帯の世帯主が、市内の販売店で処理機器を購入し（通信販売やネット販売は対象外、購入後5年を経過しての買換えは可能）、市内に設置すること。

■補助対象機器

密閉式バケツ容器、コンポスト容器、電気式生ごみ処理機

■補助金額

本体価格（購入価格から消費税及び配達料等を除く額）の２分の１以内で上限は２万円（100円未満は切捨て）

■補助対象個数

１世帯につき電気式生ごみ処理機１基又は生ごみ堆肥化容器にあっては2基（ただし、予算の範囲内で先着順）

■申請

処理機器を購入する前に指定の申請書に必要事項をご記入の上、**令和４年３月中頃まで**に、郵送又は直接提出してください。申請書は、玄関案内係（本庁舎２階）、健康増進課（市民総合センター２階）、各行政局、各連絡所（万呂、ひがし、三栖コミュニティセンターを含む。）、廃棄物処理課（市ごみ処理場）、水道事業所で配布しているほか、ホームページからも取得できます。

■問合せ　　廃棄物処理課廃棄物対策係
〒646-0053　元町2291-6　☎24-6218
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.city.tanabe.lg.jp/seisou/recycle/namagomi.html)

春の訪れ

昨年12月に、東部小学校の子供たちが、ひがし公民館前の花壇にチューリップの球根を植えてくれました。春になり暖かくなってきたため、元気に花を咲かせています。公民館にお立寄りいただいた際には、是非きれいな花々をご覧ください。

東陽中学校

田辺市立東陽中学校・学校だより
４月号　令和３年３月24日

令和２年度が修了しました

３月24日、令和２年度の修了式を無事に迎えることができました。３月９日(火)には卒業証書授与式が行われ、97名の卒業生が立派に巣立っていきました。新型コロナウィルス感染症対策により規模を縮小して式典を行いました。４月から２年生は最上級生として、１年生は新入生の先輩として、新しい立場で頑張ってくれることを期待しています。様々な場面で東陽中学校のリーダーとして活躍してくれた卒業生に、幸多きことを願っています。

保護者の皆様、地域の皆様、本校の教育活動ご理解と多大なご協力をいただき誠にありがとうございました。来年度もどうぞよろしくお願いいたします。

第72回卒業証書授与式　答辞　　卒業生代表

窓から見える風景も春を感じさせる陽気となってまいりました。今日、私たち九十七名は、この東陽中学校を卒業します。私たちの卒業にあたり、このような素晴らしい式を挙行していただき、誠にありがとうございます。

三年前の春、今は着慣れた制服に初めて身を包み、希望を胸に東陽中学校の門を潜りました。初めて出会った仲間に緊張し、入学式は不安でいっぱいでした。

入学してから初めての行事となった大阪での校外学習。私たちを引っ張ってくれた憧れの先輩方との出会い。張り詰めた空気に驚かされた生徒総会。二年生になり、働くことの大変さを知った職場体験学習。自分たちの代になり、一層熱を帯びたクラブ活動。これまでの自分を見つめ直し、決意を新たにした立志式。

そんな順調だった私たちの中学校生活は一変しました。新型コロナウイルスの感染拡大による一斉休校。「このクラス、もう終わってしまうのか」という寂しさに思わず涙がこぼれました。新年度を迎えても、コロナの猛威は留まることなく、休校は延長。友達や先生に思うように会えない辛さが私たちを襲いました。テレビをつけてもコロナ、新聞を開いてもコロナ、放送を聞いてもコロナ……。そんな日常に絶望感すら覚えました。六月になり、分散登校という形で始まった中学校生活最後の年。今まで当たり前だった日常のありがたさに気づきました。

二学期になってようやく学校行事を行うことができ、学校全体が一丸となって体育大会に挑みました。喜びを爆発させるかのように熱くよさこい踊りを舞い、学年の心は一つになりました。

修学旅行の行き先は三重に変わりましたが、すべてが夢のようなひとときになり、充実した三日間を過ごすことができました。学年のハーモニーを響かせることができた合唱コンクール。またみんなと一緒に歌うことができたという達成感で満たされました。『大地讃頌』を歌い終わった後の余韻は今でも心に残っています。

そんなかけがえのない日々を過ごした私たちは、今、義務教育の課程を終えようとしています。

在校生の皆さん。中学校生活はあっという間に終わります。そして、当たり前の日常はいつ変わってしまうかわかりません。今過ごしているこの時間を大切にし、悔いのない中学校生活を送ってください。皆さんと過ごした時間は、私たちの胸にしっかりと刻まれています。これからは皆さんがリーダーとなり、東陽中学校の新たな伝統を築いていってください。

お世話になった先生方。私たちを優しく、時には厳しくご指導くださいました。私たちが悩んでいるときには、手を差し伸べ、的確なアドバイスをくださいました。先生方に掛けていただいた言葉の数々は、私たちの心の支えになっています。お父さん、お母さん。今日までたくさんの励ましをありがとうございました。これからも心配をかけることがあるかと思いますが、一人前の大人になれるように努力していきます。

この場所に立っている今、私はまだ卒業を実感できていません。明日もここへ来ていつものように友達や先生と一日を過ごすのではないか、そう思ってしまいます。しかし、私たちには進むべき道があります。この学び舎でつけた力を信じ、夢に向かって走り出します。輝く場所こそそれぞれ違いますが、新たなステージで活躍できるよう頑張ります。まだまだ未熟な私たちですが、これまで関わってくださった全ての方々へ心からの感謝とともに、東陽中学校の一層の発展を願い、答辞とさせていただきます。